大正10年法 第36類 被服、手巾、釦鈕及装身用ピンの類

被服、手巾、釦釘	以袋与			/# <i>*</i>
大正10年法	区八		備考	
商品	区分	<u>商品</u>	類似群	
被服	5	失禁用おしめ	17 A 04	
	9	事故防護用手袋	17 A 04	
		防火被服	17 A 06	
		医療用手袋	17 A 04	
	16	紙製幼児用おしめ	17 A 04	
		家事用手袋	17 A 04	
	24	経かたびら	20 F 01	
	25	洋服 , コート	17 A 01	01
	25	セーター類,ワイシャツ類,寝巻	17 A 02	
		き類,下着,水泳着,水泳帽	_	
		和服	17 A 03	
	25	エプロン,えり巻き,靴下,ゲー	17 A 04	
		トル,毛皮製ストール,ショー		
		ル,スカーフ,足袋,足袋カ		
		バー,手袋,布製幼児用おしめ,		
		ネクタイ,ネッカチーフ,バンダ		
		ナ,保温用サポーター,マフ		
		ラー,耳覆い		
	25	ずきん、防暑用ヘルメット、帽子	17 A 07	
			24 C 01	
		衣・空手衣を除く。)、マラソン		
		足袋		
	25	地下足袋	22 A 01	
	26	帯留	21 A 02	
 衣服	20	中曲	217/02	02
洋服	25		17 A 01	02
コート			17 A 01	
 パンツ (洋		<u>コー</u> ズボン	17 A 01	03
ハンフ(7 - 服)	23	\(\times_1\)	17 701	03
パンツ(下	25	パンツ	17 A 02	04
	23	Nov	17 A 02	04
着)	25	407×21 2 1	47 4 00	
ネビヘシラズ		ねびえしらず	17 A 02	
和服		和服	17 A 03	
前掛		前掛け	17 A 04	
延掛	25	よだれ掛け	17 A 04	
胸當	25	胸当て	17 A 04	
エプロン		エプロン	17 A 04	
手甲		手甲	17 A 04	
腕貫	25	腕貫き	17 A 04	
脚袢	25	きゃはん	17 A 04	
經帷子	24	経かたびら	20 F 01	
帶止	26	帯留	21 A 02	
冠	25	冠	17 A 07	
帽子	25	帽子	17 A 07	
カラ	25	カラー カフス	17 A 02	
カフス	25	カフス	17 A 02	
領飾	25	えり飾り	17 A 04	
襟		えり	17 A 03	
襯衣		シャツ	17 A 02	
	25	じゅばん	17 A 03	
ヅボン下		ズボン下	17 A 02	
胴締	25	胴締め	17 A 03	
手袋		<u>調節の</u> 事故防護用手袋	17 A 04	05 06
丁亿	<u> </u>	于以沙坂门丁衣	11 /7 U 1	00 00

大正10年法 第36類

被服、手巾、釦鈕及装身用ピンの類

大正10年法		書換表示	備考	
商品	区分	商品	類似群	
	10	医療用手袋	17 A 04	
	21	家事用手袋	17 A 04	
	25	手袋	17 A 04	
足袋	25	足袋	17 A 04	
手巾	24	布製身の回り品	17 B 01	
ハンカチーフ		ハンカチ	17 B 01	
手拭	24	手ぬぐい	17 B 01	
タオル		タオル	17 B 01	
袱紗		ふくさ	17 B 01	
風呂敷	24	ふろしき	17 B 01	
釦鈕	14	カフスボタン	21 B 01	
	26	こはぜ,ボタン	21 B 01	
甲馳	26	こはぜ	21 B 01	
カフス・ボタン ン	14	カフスボタン	21 B 01	
装身用ピン				07
ネクタイ・ピン	14	ネクタイピン	21 A 02	
ブローチ	14	宝石ブローチ	21 A 02	
	26	衣服用ブローチ	21 A 02	

01 「被服(頭から冠る防虫網・あみ笠・すげ笠・ナイトキャップを除く。)」(書換表示欄に示す商品を包括する概念表示の商品)の書換表示も認められる。)

- 「頭から冠る防虫網」は、大正10年法第35類に属する。
- 「あみ笠・すげ笠」は,大正10年法第60類に属する。
- 「ナイトキャップ」は,大正10年法第64類に属する。
- 02 「衣服」の概念は現行の区分になく,また,大正10年法の「衣服」に属する商品が現行の複数の区分に移行されているので,「衣服」の書換表示はできない。
- 03 昭和7年3月調類似商品例集の第36類中,洋服,オーバコート等の商品群に例示されているパンツ。
- 04 昭和7年3月調類似商品例集の第36類中,猿股,蛙股等の商品群に例示されているパンツ。
 - 05 「絶縁用ゴム手袋」は,大正10年法第16類に属する。
 - 06 「手袋(運動用具)」は,大正10年法第65類に属する。
- 07 「装身用ピン」の概念は現行の区分になく,また,大正10年法の「装身用ピン」に属する商品が現行の複数の区分に移行されているので,「装身用ピン」の書換表示はできない。